



もりもりバイオマス株式会社

地域主導による 木質バイオマス熱利用の可能性 パネルディスカッション用資料

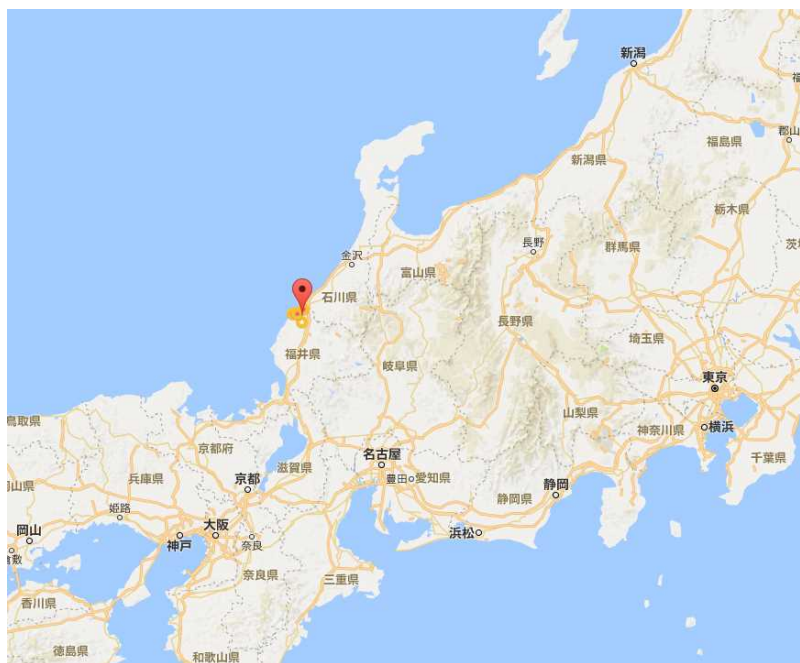
 マルツホールディングス

株式会社マルツホールディングス 企画部
新エネルギー課 課長 大城 謙治



もりもりバイオマス

もりもりバイオマス(株) チップボイラ配置図



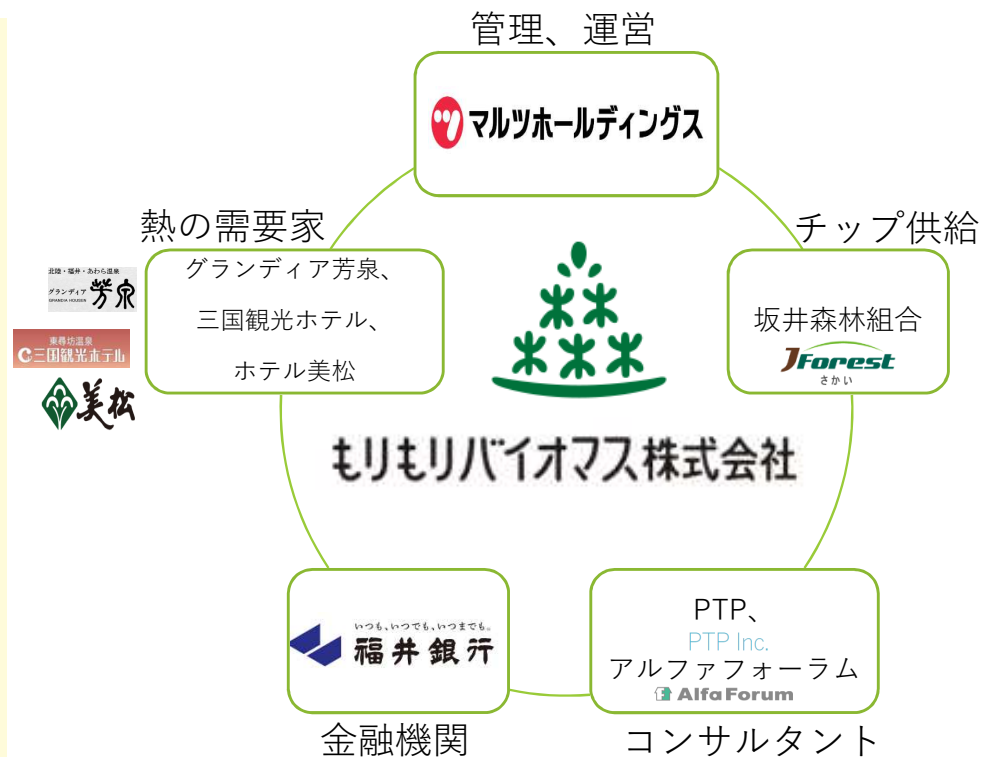
3か所で1040KWの出力のチップボイラを運営中。
林野庁実証開始：2015年6月～、営業運転開始：2017年3月～



もりもりバイオマス

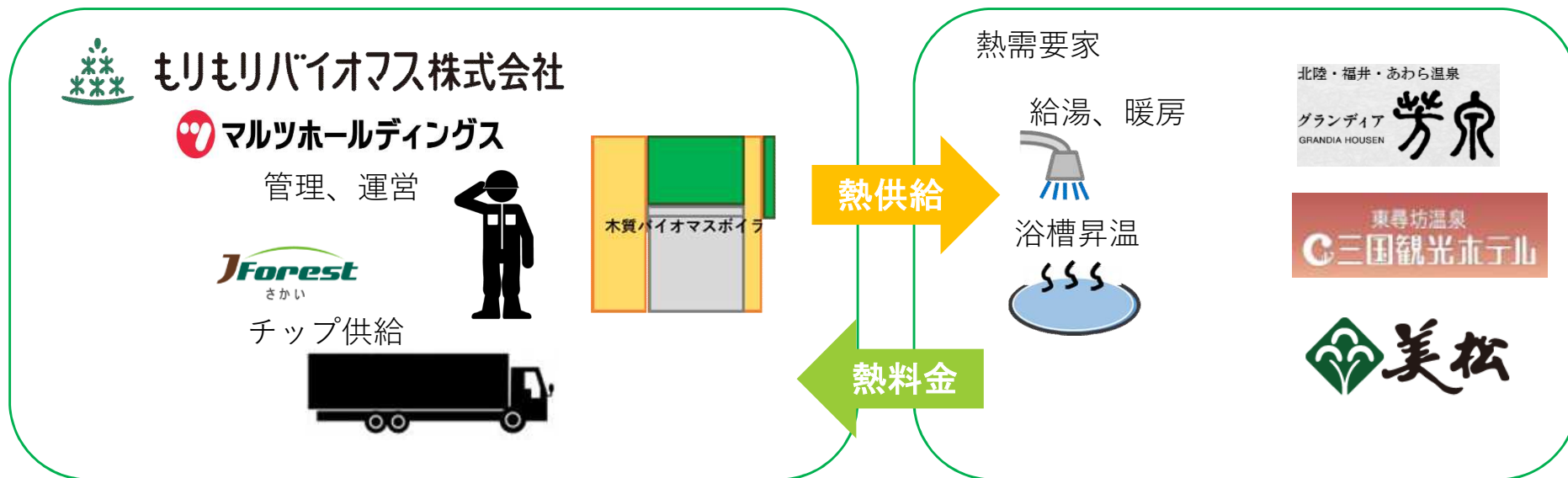
もりもりバイオマス(株) 特徴 1

安定・安価な「民間による地域熱供給事業会社」



もりもりバイオマス(株) 特徴 2

設備投資なしに**木質バイオマスボイラの熱**を利用できる



熱需要家、ホテルは扱いが難しいバイオマスボイラを管理する必要がなく、設備投資も必要がない。電気やガスのように使った熱量に応じた費用を払うだけでよい



今回お伝えしたいこと

- 地域内での取り組み、エネルギーを地域に
- 事業は山側が主体、チップがなければ始まらない
- 現場の実態、甘くはないが、できなくはない
- 自治体との連携、安定的需要開拓



ご清聴ありがとうございました。

